

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1)元気な里！さくぎ

平成25年7月11日（木） 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
<p>① 自主防災組織で「防災マップ」を作成し、危険箇所等の認識ができた。避難場所についても、一次避難や二次避難等の検討の必要性など、多くの課題があることも認識することができた。その中で、携帯電話が入りにくい地域に、緊急避難場所があることがわかったが、火災や洪水などの有事の際の防災体制について、市の考えを伺いたい。</p>	<p>三次市は、安全・安心なまちとして、全国の都市ランキング（5万人以上の市と区）で全国8番目という評価をいただいています。浸水対策工事等のハード面の整備も進めていますが、いざ大災害が起こったときは、行政がすべてにわたっては対応できませんので、地域の皆さんにも、「自助」、「共助」の中で、命を守るために何ができるかを考えていただきたいと思います。</p> <p>防災マップについては、住民自治組織を中心に、精力的に取り組んでいただいています。防災については、まずは正確な情報を伝えることが急務と考えています。NTTのオフトーク放送が平成27年2月で終了するため、ケーブルテレビの音声告知放送のエリアを市内全域に広げていきます。また、消防団には、簡易デジタル無線を配備し、情報把握等について連携を取っていくとともに、携帯電話等への市内一斉メールも実施します。携帯電話の電波が入らないところについては、具体的な場所を教えてください、消防団の方等とも情報共有し、細かく対応していきたいと考えています。</p>
<p>② 三次市は、建設中の中国横断自動車道尾道松江線や中国縦貫自動車道、山陰自動車道、山陽自動車道等の高速道路に囲まれており、この条件を生かした活性化を期待できる町だと思っている。そのような中で、国道375号整備の早期完成を期待しているが、現在の整備状況や今後の計画を聞きたい。</p>	<p>国道375号は、今回、緊急避難道路の指定を受けたので、整備も前進していくと期待しています。門田から上流部は現在1次入札が終わり、業者も決まっています。9月頃には第2次入札に入る予定です。今後は大きくは2本立てとなり、工事箇所も何か所かに分かれるものと思われます。唐香から上流部の唐谷工区については鳴瀬の堰堤区間を含めて、予備設計の作業に入られる予定です。</p> <p>工事期間中は交通規制等でご迷惑をおかけすると思いますがご協力をお願いします。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1)元気な里！さくぎ

平成25年7月11日（木） 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
<p>③ 住み慣れた地域で健康に過ごすため、関係団体と連携しながら取り組んでいるが、高齢者の交通確保などの課題も多く、地域に応じた取組が必要だと思う。市民の健康づくりに向けた取組を聞きたい。</p>	<p>高齢者の生活交通の確保については、市民バスやデマンドバスを運行し、日常生活を支えています。また、作木町では、平成23年10月から、NPO団体を主体として、「さくぎニコニコ便」の運行に取り組んでいただいています。様々な課題がありますが、一つひとつ連携しながら乗り越えていきたいと考えています。</p> <p>三次市では、「いきいき健康日本一」のまちをめざし、健康推進事業に特に力を入れています。これから団塊の世代も高齢者の仲間入りとなり、ますます平均寿命も延びると思われる中で、「健康寿命」を延ばしていく必要があります。「しっかり動いて きちんと食べて みんな笑顔で伸ばそう健康寿命」をスローガンに、心も体も元気になっていけるような取組を仕掛けていきます。</p> <p>また、健康運動インストラクターを2人採用したので、ノルディック・ウォーキングや介護予防教室などの講習会を充実していきたいと考えています。</p>
<p>④ 観光交流を深めるために、作木町の自然や文化を生かして知恵を出し合っていきたいと考えている。カヌー公園への入浴施設整備は、作木町民が元気村さくぎ構想において大きな期待を抱いていた構想であり、今も多くの住民が期待しているが、この整備事業についての考えを聞きたい。</p>	<p>カヌー公園に入浴施設がないために支障が生じていることは重々承知しています。住民自治組織としてこれからどのようなまちをめざしていくのか、その戦略の中でどのように位置づけるか、何が必要かを皆さんにも考えていただいたうえで、これから策定する総合計画や実施計画の中で検討していきたいと思っています。</p>
<p>⑤ 地域資源を活用してビジネスへつなげていくための支援策があれば助言してほしい。</p>	<p>作木町では、カヌー公園の利用やふれあい公園とセットでスポーツ合宿の受け入れ等に取り組んでいただいているところです。</p> <p>また、今年の三次市全体のポスターにも使用したブッポウソウについても、多くの方が見に来てくださる取組を地道に続けておられ、「がんばるまちづくり支援</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1)元気な里！さくぎ

平成25年7月11日（木） 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
	<p>事業」も活用されています。</p> <p>なお、JR三江線についても、生活路線であるとともに、江の川と並ぶ観光資源であると考えていますので、これらを利用して活力を生んでいくことについても、具体的に連絡を取り合いながら、可能な点については支援していきたいと思えます。</p>
<p>⑥ 道路の端の草が伸びており、事故につながるのではと心配している。特に通学路については除草をしっかりやってほしい。</p>	<p>県にはこれまで年2回の草刈りを実施していただいていたのですが、現在では年1回が基本になりました。また、法の長さも、法尻から1m、法肩から下へ1mであったものが、全県的に50cmが標準となりました。基準通りでは危険な箇所については要望して例外的に実施していただいたこともあり、市としては今後もやっていただきたいと要望しています。</p> <p>歩道の除草についても交通安全の一環であると考えており、市道については年2回を基本としています。作業については地元の方の協力があることで感謝しています。県、市も通学路の除草については、チェックして優先的に実施したいと思えます。</p>
<p>⑦ 冬期のスクールバス利用について、昨年度実施されたアンケートで3月までの利用期間延長要望をしたが、結果がどのようなになったか聞きたい。</p>	<p>【後日回答した趣旨】</p> <p>中学生のスクールバス利用については、通学距離が9km以上の場合、年間を通しての利用が可能です。冬期（11月～2月末 旧作木中学校寮利用期間）については、6km以上が利用可能とし、利用については、学校へ申込みしていただくこととしています。</p> <p>冬期の利用期間について変更することは、現在はありません。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1)元気な里！さくぎ

平成25年7月11日（木） 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
	異常気象（豪雪等）継続や大規模な道路改良による通学時の安全確保のために利用の変更をする場合は、対応させていただきます。
⑧ 学校の耐震化事業の平成24・25年度の予定表には作木の学校が載っていないが、すでに耐震化されていると理解してよいか。	昭和56年以前の建物が耐震補強工事の対象となっていますので、作木の学校については問題ありません。
⑨ 災害等の緊急事態には、早めの指示及び勧告が必要だと思う。庄原の集中豪雨の災害時は、避難指示も勧告もできなかったのではないかと思う。難しい問題だと思うがどのように検討されているか聞きたい。	注意報が発令された場合、市では職員が常時3人以上待機する体制をとっています。また、情報の収集と伝達が一番重要であると認識し、ケーブルテレビの音声告知放送の対象地域の拡大や消防団へのデジタル無線の配備等をしていきます。 災害時の適切な情報伝達と避難指示が出せるかということについては、間違いなくやっていきます、と言えるような取組をしていきたいと考えています。 避難勧告は強制力はありませんが、避難指示になると強制力が伴ってきます。防災の手引きを配布していますので、無くなったりしていれば印刷してでも配布していきたいと考えています。

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1)元気な里！さくぎ

平成25年7月11日（木） 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
<p>⑩ 地籍調査は本人が立ち会って納得することが大事だが、高齢化が進んでいるため、高齢となった本人が直接山へ行って確認することが非常に厳しい状況になっている。予算的なこともあると思うが早急に地籍調査を進めてほしい。</p>	<p>地籍調査については、予算としては年間2億円（うち国の補助金1億円）を計上していますが、現地確認の困難や不在地主の問題等もあり、なかなか進捗していない状況です。こういった形で早期完了できるか、検討が必要な案件であると考えています。国へ予算獲得の要望を行うと同時に、前向きに取り組んでいきます。</p> <p>なお、作木地区の進捗率は今年度末の着手予定を含め54.1%で、地籍調査が完了している地区は三良坂地区のみです。</p>